

支援事例

商工会名	宇土市 商工会	氏名	森下 周	情報開示の可否	可
支援テーマ	事業再生・再チャレンジ	題名	事業承継に伴う創業支援について		
	事業承継				

<支援企業の概要>

事業所名	オルタンシア	従業員	4 人	創業/ 会社設立	創業日	2024年7月29日
業種	菓子製造小売業	うち家族従業員	0 人		業歴	0年8ヶ月

○企業概要

オルタンシアという屋号はフランス語で紫陽花という意味があり、宇土市は紫陽花が有名であることから、その名を名付けた。洋菓子の製造についてはなるべく身体に悪いものは使わず、生クリームとこだわりぬいた食材を使い、製造している。将来のビジョンについては、熊本県で1番の洋菓子店を目指しており、経営方針については、事業譲渡前に行っていたことを引き続き行いつつ、新しいことにチャレンジしていきたい。

○支援のきっかけ（相談内容）・支援前の課題

（同）たんばぼ企画より一部譲渡にて、創業された。個人事業主として創業し、今後の事業計画及び菓子製造小売業の業界動向を加味したうえで、事業を行っていきたいとの思いがあり、様々な支援の依頼があったため。

○支援内容および支援後の状況・効果

販路経路の確保・開拓についての検討

令和6年4月に事業承継の買い手として、商工会窓口へ相談に来所された。元々、福岡の大手洋菓子店に勤務をし、5店舗の統括を経験されている。また、熊本へ帰熊後は、製造小売業に勤務し、洋菓子店の立ち上げ等を行ってきた。統括等の経験はあるものの、SNS等のプラットフォームに弱いため、支援を行う必要がある。

1. PR不足

オルタンシアの店長をしている時は、会社がSNSの運用代行会社へ運用を依頼しており、その時はPRについても出来ていた。しかし、運用代行のデメリットとして、スピーディーに自社の情報を載せることが出来ない。Instagramについては、ストーリーズで現況を載せることはできるが、ターゲットについてはフォロワーのみになってしまう。広くPRするには、投稿にタグ付け等を行う必要があるため、SNS活用についての指導が必要であると考えた。

2. 取り組む内容

PR不足を解消するために、Instagramを活用方法を見直す必要がある。運用代行に頼らず、自社で投稿を完結、またクオリティの高い投稿を行う必要がある。洋菓子製造業の業界動向を見ると、スーパー、コンビニのスイーツ部門が競争力を増し、大手チェーンのブランド力向上や一定の商品に特化したブランドの出現等、商品の多様化が進んでいる現状がある。オルタンシアにおいては、材料にこだわり、身体に悪い材料は使わないというコンセプトがあるため、大手チェーンとの差別化についてもPRするよう指導を行う。SNSの操作方法等については、商工会指導員が指導を行うことに加え、外部有識者（専門家派遣）の活用を行い指導を行う。

上記内容を支援したことで、Instagramを見て購入するためにこられる顧客が増加し、創業後の売り上げに対するアプローチができた。

税務についての指導

前職等にて5店舗の統括等をやられていたが、税務等に携わった経験がなく知識がない。また、創業初期からインボイス登録事業者となる意向があるため、経営指導員により、所得税・消費税・簿記等の経理に関する指導が必要である。

（１）簿記についての指導

簿記全般-主要簿、補助簿について

科目について（科目の意味、仕訳方法）

経理ソフトの操作方法等について

（２）所得税・消費税について

個人事業主になるため、所得税の仕組みや青色申告制度、確定申告についてのきめ細やかな指導を行う。また従業員を雇用するため、源泉徴収、年末調整についても行う必要が出てくるため、各種給与事務についての指導を行う。

消費税については、創業初期より、インボイス登録事業者となる意向があるため、本則課税、簡易課税についての指導を行い、消費税の申告漏れがないよう、指導を行う。

上記指導を行ったことにより、帳簿についての理解を深めていただくことができた。5年間は商工会にて記帳代行を行い、さらなる指導につなげていく。

事業継続力強化に関する指導

令和6年7月29日に開業するが、事業承継ということもあり、常連顧客が一定数ついている。昨今、全国的に見ても、地震、水害等の災害被害が多くなっている現状がある。そのため、災害が起きた際に迅速に対応出来るよう事前に計画を策定しておく必要がある。

（１）事業継続力強化計画策定支援

- ・巡回による、現地の確認及び事業主からヒヤリングを行い、災害についての対策をどこまでしているのかを確認する。
- ・ヒヤリングした内容をもとに、計画策定に取り掛かり、J-SHINSや宇土市ハザードマップを参照し、地震の発生確率や、水害が起こった際の浸水度合い等の確認を行う。
- ・策定した計画をもとに、事業所の防災、減災対策を行う。

上記指導を行ったことにより、地震、火災、水害が起こった際の対策等についての知識を深めてもらうことができた。計画策定については、令和6年度中に行っていき、認定を受けるための計画策定支援を行う。

○今後について（目標や課題など）

今後の目標としては、創業初期ということもあり、財務体質が盤石ではないため、全般的な指導を行いつつ、財務体質強化に向けた支援を継続して行っていく。また、きめ細やかな支援ができるよう、進捗管理を徹底して行い、伴奏支援を行っていく。